

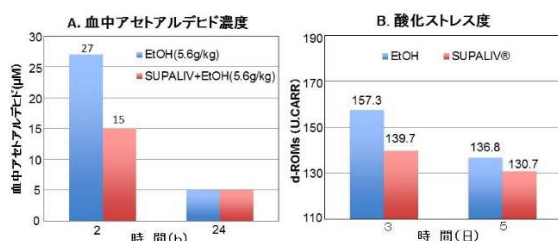
酸化ストレスを抑制し、急性アルコール中毒の予防効果を確認

岐阜大・犬房氏、独自開発の抗酸化剤で

岐阜大学生命科学総合研究支援センター抗酸化研究部門客員教授の犬房春彦氏はこのほど、同氏が開発し世界特許も取得したアミノ酸とビタミン類の配合剤『SUPALIV』を用いたマウス実験で、酸化ストレスの抑制および急性アルコール中毒への予防効果を確認。同結果は、今年 12・13 日に京都国際会館で開催される「第 12 回日本機能性食品医用学会総会」でも発表する。

今回実験に用いた『SUPALIV』は、2008 年に(株)アレグロで行なった臨床治験で「アルコールの代謝を促進し、酒酔いの諸症状を緩和させる」効果を確認済み。ただ、アルコール代謝過程で生じるアセトアルデヒドによる酸化ストレスの動態については明らかではなかった。そこで犬房氏は今回、マウス腹腔内アルコール投与モデルを用い、アセトアルデヒドと酸化ストレスの動態を測定し、『SUPALIV』投与による低減効果を検討。さらにマウス急性アルコール中毒モデルを用いて、臨床的に行なわれているグルコース点滴治療の効果や『SUPALIV』の複数回投与後の死亡抑制効果を検討した。その結果、マウスの血中アセトアルデヒド濃度はアルコール投与後、短時間で急上昇するが、24 時間後には測定限界以下に低下した。一方、酸化ストレス(d-ROMs test 値)は、24 時間後から上昇し、5 日経過後も正常値より高値を示した。アルコール投与 30 分前に『SUPALIV』60mg/kg を投与した群では、アセトアルデヒドは 44%、酸化ストレスは 37.2%低下した（下記グラフ参照）。

アルコール投与後の
血中アセトアルデヒド濃度と酸化ストレス度変化

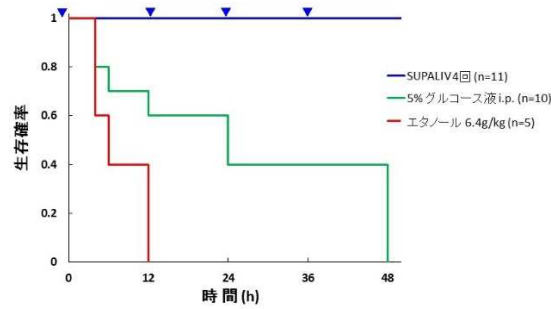


アルコール(比重計算5.6mg/kg)は蒸留水で500 μl に希釈して腹腔内投与。
A. SUPALIV (60mg/kg)はアルコール投与の30分前に経口投与した。
B. SUPALIV (60mg/kg)を24時間間隔で4日間経口投与し、3回目と4回目のSUPALIV投与1時間後にEtOHを腹腔内投与した。

またアルコール 6.4g/kg を腹腔内に投与する急性アルコール中毒マウスモデルでは、非処置群は 12 時間で全マウスが死亡。グルコース溶液腹腔内投与群では生存期間は延長したが 48 時間後には全マウスが死亡した。一方、アルコールの投与 30 分前と投与 12・24・36 時間後の合計 4 回『SUPALIV』60mg/kg を投与した群では 48 時間後も全マウスが生存（下記グラフ参照）。

『SUPALIV』が血中アルコールやアセトアルデヒドだけでなく、酸化ストレスを低下させることでアルコールによる臓器障害を予防していることが示唆され、『SUPALIV』の急性アルコール中毒への予防効果が明らかになった。

急性アルコール中毒モデルマウスの生存率



アルコール(比重計算量6.4g/kg)は蒸留水で500 μ lに希釈して腹腔内投与した。
5%グルコース液は500 μ lをアルコール投与の30分前に腹腔内投与した。
SUPALIV(60mg/kg)は蒸留水500 μ lに溶解してアルコール投与の30分前と投与後
12,24,36時間(▼時点)後に経口投与した。
<市販のSUPALIV 1粒は約600mgの有効成分を含有>

【SUPALIV 商品概要】

商品名：SUPALIV (スパリブ)

価格：税抜 ¥360 (3粒)、税抜 ¥500 (4粒)



世界特許取得：PCT W02005 / 077464 A1

アルコール代謝調節組成物スイス生まれのビタミン総合サプリ

3粒は全国のサークルKサンクス、4粒は全国のファミリーマートで取扱っています。※1
10粒以上の商品は弊社ネットショップ・famima.comなどのインターネットで御購入出来ます。

<http://supaliv.net/>

<http://www.famima.com/shop/c/chlhy0101/>

(※1 取り扱いのない店舗もございます)

【本件に関するお問い合わせ】

TIMA Japan 株式会社 <http://timajapan.com/>

住所：大阪市中央区南船場1丁目9番1-404

電話番号：06-6261-6670

E-mail：s@timajapan.com

担当：波多江

TIMA
For a better life